

平成 22 年 3 月 26 日

各 位

会 社 名 株式会社 イトーヨーギョー
代表者名 代表取締役社長 畑 中 浩
(コード番号 5287 大証二部)
問合せ先 管理部長 樽 井 賢 治
(TEL 06 4799 - 8850)

業績予想の修正および繰延税金資産取崩しに関するお知らせ

最近の業績動向等を踏まえ、平成 21 年 6 月 26 日に公表しました平成 22 年 3 月期(平成 21 年 4 月 1 日～平成 22 年 3 月 31 日)の通期業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成 22 年 3 月期通期業績予想数値の修正(平成 21 年 4 月 1 日～平成 22 年 3 月 31 日)

(金額の単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	3,014	34	37	330	107.01
今回修正予想(B)	2,496	144	161	31	10.28
増減額(B-A)	518	178	198	299	
増減率(%)	17.2			90.6	
(ご参考)前期実績 (平成 21 年 3 月期)	2,617	211	189	167	54.34

2. 修正の理由

道路関連製品「ライン導水ブロック」および環境関連商品を中心に引合いが順調に推移し、主力製品である「ライン導水ブロック」、「台付管」の販売は前年度実績より大きく伸ばしたものの、工事着工遅れ等もあり、予想数値に対して未達の見込みであり、またゴムジョイント等の商品の販売が伸び悩んだことから、売上高は前回発表予想を下回る見込みとなりました。

利益面につきましては、各種収益改善施策の一環として、特に人件費抑制により、販売管理費は削減したものの、売上高未達に加え、たな卸資産除却損、繰延税金資産の取り崩し等により、営業利益・経常利益・当期純利益がそれぞれ前回発表予想を下回る見込みとなりました。

3. 繰延税金資産の取崩し

当期から不動産関連事業を本業としたことに伴い、将来加算一時差異の将来解消見込年度のスケジューリングを慎重に見直した結果、当期末決算において繰延税金資産を取り崩したことにより、法人税等調整額 80 百万円を計上し、当期純利益につきましては 31 百万円の利益となる見込です。

(注)

上記予想につきましては、本資料の発表日現在において当社が入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいて作成したものであり、実際の業績等は様々な要因により予想数値と異なる場合があります。

以上